



# 佐藤 ひさよし 後援会 News

発行：佐藤 ひさよし 後援会・大泉町民懇話会  
後援会事務所：坂田1-1-1 (パナソニック構内) TEL：0276-61-9926

新たな年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

私は初心を忘れることなく、大きなテーマに掲げた「教育から始める未来づくり」、教育・環境・財政の3つの柱をこれまで以上に推進しなくてはならないと思っています。

昨年末から年始にかけて全国的に人の動きが活発になり、それを契機に新型コロナウイルスの感染が再度、広がっています。大泉町においても例外なく感染者が増加しているところですが、国や県と連携し出来る事をスピード感をもって対応しています。

3回目のワクチン接種も始まります。3回目のワクチン接種は国からの分配数なども考慮しながら対象者に接種券が配送されますのでそちらでご確認をお願いします。

本年も皆様の地域生活における課題や困りごとの改善、解決に向け、引き続き取り組んでいきます！

## 12月定例会ではこんなことが決まりました



内容をチェックし全ての議案に賛成しました

12月定例会 会期：令和3年12月7日～9日

条例関係・・・ 4件                      補正予算・・・ 5件

人事関係・・・ 1件                      その他・・・ 9件

合計 19件

この中から1つを  
Pick up

Pick up①

■議案第55号

「大泉町みらい創造羅針盤  
大泉町総合計画2019  
基本構想の変更について」

この大泉町総合計画は大泉町の最上位計画として2019年から2029年までの期間について町の方向性を示した計画になります。

今回の変更は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、社会全体における多くの物事に対する価値観がコロナ禍前とは大きく変わってきたことに伴い見直されました。

変更内容としては、

◆DX(デジタル・トランスフォーメーション)による産業構造の変化への対応

◆観光振興として地域を生かすためのCOI(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の導入

◆多様な生活様式に配慮した交通手段の整備

◆東京圏と適度な距離がある本町の特徴を生かし多様な生活様式への対応 など。

これまで、デジタル化の推進や多様性の推進、コロナ禍での教育施策、交通政策など様々な提言をさせていただいたことが計画に反映されたこととなります。これからも皆様の声を行政に届けていきます。

子育て世帯への支援が  
人口増、税収増に繋がる

大泉町では3年に1度『子ども  
の生活実態調査』を実施して  
おり、その結果から見えてくる  
ものは低所得世帯ほど、子ど  
もたちの教育に掛かる経費を  
減らさざるを得ない状況があ  
るとい事です。結果として進  
学を諦めることなどに繋がり  
、社会人になつたとき、安定  
した仕事に就けず、その世帯  
の子供も低所得世帯に陥って  
しまう「貧困の連鎖」が続い  
てしまっています。そこから脱  
却させるために、低所得世帯  
をメインとし、子どもたちへ  
の教育の拡充を提言していま  
す。

子育て世帯への経済的支援が  
好循環なサイクルとして成功  
している自治体があります。そ  
れは兵庫県明石市で、様々な  
子育て世帯への支援メニュー  
を用意し、子育て世帯の経済  
的支援を拡充したことで、人  
口増加、税収増加となり、好  
循環なサイクルが出来ていま  
す。



★好循環サイクルの構築に  
向けて取り組んでいます。

公共交通に関する住民  
アンケートが実施されます



公共交通の充実に取り組んでいます。

令和2年9月の定例会にてニ  
ューノーマルな町づくりをテー  
マに大泉町の交通政策などにつ  
いて一般質問をしました。  
その内容は新型コロナウイルス  
が拡大し、テレワークなどが新  
しい働き方になりつつある現  
状で人を呼び込む施策として  
非常に重要であり、東京一極  
集中と言われる現状で比較的  
、東京に近い大泉町としては  
、特に熊谷までのバスやタク  
シーを利用した公共交通の充  
実が必要と訴えました。  
それを受け、町としては住民  
ニーズの調査のため、アンケ  
ートを実施します。  
最近では高齢者による自動  
車事故も後を絶ちませんが、  
この地域で自動車が無い生活  
は非常に不便だと思えます。  
また、高校生の登下校、通  
勤、買物など需要はあります。  
対象になられた方には町から  
アンケートの依頼が郵送され  
ますのでご協力をお願いします。

自然環境に変化が  
起きています!!

パナソニックグループ労働組  
合を中心に構成されている大  
泉町民懇話会の主催で、昨  
年12月に34回目となるサ  
ケの受精卵配布を行いました。  
例年より川の水温が低く、  
受精卵の成育が遅れたため、  
配布日を1週間延期し実施  
しました。

当日は、例年、取り組みにご  
協力いただいているご家族  
や、今回初めて取り組んで  
いただけるといいう、ご家族  
など、多くの方々に受精卵  
を配布することが出来ました。  
例年、楽しみにしている子  
どもたち、そして子どもたち  
と一緒に楽しみにおいちゃん  
、おばあちゃんたちの笑顔  
がたくさん見られました。  
3月の放流の際にお会いでき  
ることを楽しみにしています。



多くの子どもたちが来てくれました!

この活動も34回目を迎えま  
したが、利根大堰でカウント  
されているサケの遡上数に大  
きな変化が起きています。  
近年では平成27年度の1万  
2338匹が最高で、年々減少  
が続き、令和3年度は36匹  
しか遡上してきていません。

原因ははっきりしておらず  
諸説ありますが、一つの要因  
として自然環境に変化が起  
きているといいう事はまちが  
いがないのではないでし  
ょうか。  
持続可能な地域社会を築く  
ためにも環境施策はこれまで  
以上に提言していきます。

同日に行政相談も実施し、  
住民の方より地域生活の課題  
や困りごとなどについてご  
相談いただきました。  
皆様も地域生活における、  
お困りごとはご相談くだ  
さい。



生活環境の課題について相談を受けました。